



かすが たかし  
春日 隆司 議員

## 加速化する人口減少には内的要因ある。阻止の決意は

町長 決意は数値で表せない。現実には厳しいものがある

### 「幸せ日本一」実感把握

質問

合計画のアンケート調査で「幸せ日本一」の実感について、町民意向を把握していただけますか。

町長 幸せ日本一は理念的なもの。アンケート調査項目を作って、最終的に理念に結びつくようにしていきます。

### 指示と職員の受け止め

質問

人口対策は最重要課題として、町長は、「独自性を持って出生率を上げていく、先送りするのではなく、新しい考え方を導入していく、既成や固定概念を払いつけて、新たな発想でチャレンジしていく」と答弁しています。

町長 本年度、具体的な政策は見受けられないがなぜですか。

町長 人口増につなげるよう取り組んでまいります。課長会議で移住定住施策についてどういった施策で推進していくというのか、仕組みづくりをしっかりと示しています。

再質問 町長は「私は指示をされているかは分からない」と

いう、ふるさと納税（1億円目標）と同様な状況ではないですか。

町長 職員の感じ方、度合いは分かりません。少しずつ施策に反映をしているのではないのでしょうか。

### タウンプロモーション推進部の機能強化

質問

タウンプロモーション推進部は任意団体で、年間、人件費を含め3,000万円から5,000万円くらい、資金運用しています。8年間で約2億4,000万円。任意団体は法律のしぼりがありません。

町長 任意団体でやるメリット、町の一般会計でやるべきではないでしょうか。（※タウンプロモーションは平成26年度に設立した下川町産業活性化推進機構内にある任意団体で全額町からの補助金で運営）

町長 内部組織として設置したものです。法人化のデメリットが非常に大きく、今の組織で推進していくとと考えています。

再質問 タウンプロモーションを産業づくり支援や人口対策、経済対策を下支えしていく組織に

変えていけませんか。

町長 タウンプロモーションは、定住移住政策、起業化、人材登録、まちづくりという役割があります。産業づくりでは起業化を育てるサポート役をやっていきます。

事業承継支援の一端はタウンプロモーションも担っています。企業と企業をつないだり、人と企業をつないだりということに汗をかいています。

### 「新しい幸せ」とは何か

質問

教育方針の「続ける幸せ、変わる幸せ、新しい幸せ」のイメージと施策はなんですか。

町長 見直しや新規事業で達成感や満足度、充実感が高まり、新たな幸せを実感し、積極性やチャレンジ意欲につながっていきます。

町長 地域の魅力や課題に触れる機会をつくることで地域、学校、家庭が連携した場づくりができます。中高生の居場所づくり事業を新たに実施します。

再質問 子どもは大人と同じ権利があります。誰一人残さ

れない町だからこそ、子どもたちの希望がかなえられる、夢のある、下支えをするような政策を打ち出せませんか。

町長 常に考え、しっかりと計画を立てながら進めています。

### 人口減少対策への決意

質問

ここ数年、人口減少が加速化しています。「スピード感、誰一人残されない、チャレンジ、新しい幸せ」など発言されていますが、今、求められているのは、具体的に寄り添って形の見える政策ではないですか。

町長 谷町長時に町職員は何人辞めましたか。

町長 中途退職者は38名。主に家庭の事情、次の人生を目指す方々など様々な事情がありました。

町長 人口減少の加速化は内的要因があります。現在の人口は3,098人。町長の任期末（来年4月）には3,000人を維持するとの決意を伺います。

町長 決意は数値で表せませんが、現実にはなかなか厳しいものがあります。